

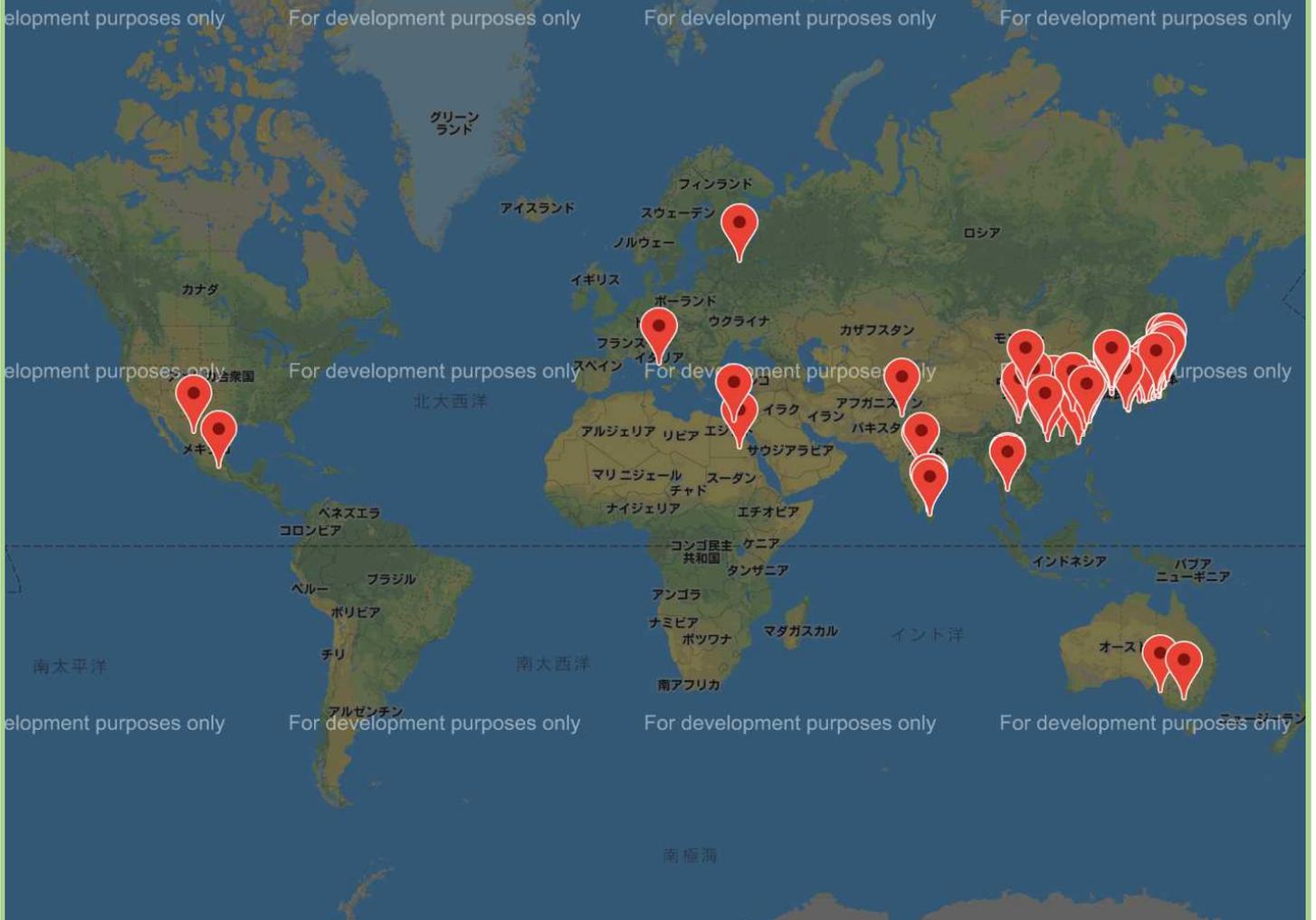
世界かんがい施設遺産

世界かんがい施設遺産とは、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、**建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等**、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を国際かんがい排水委員会（ICID）が認定・登録する制度です。

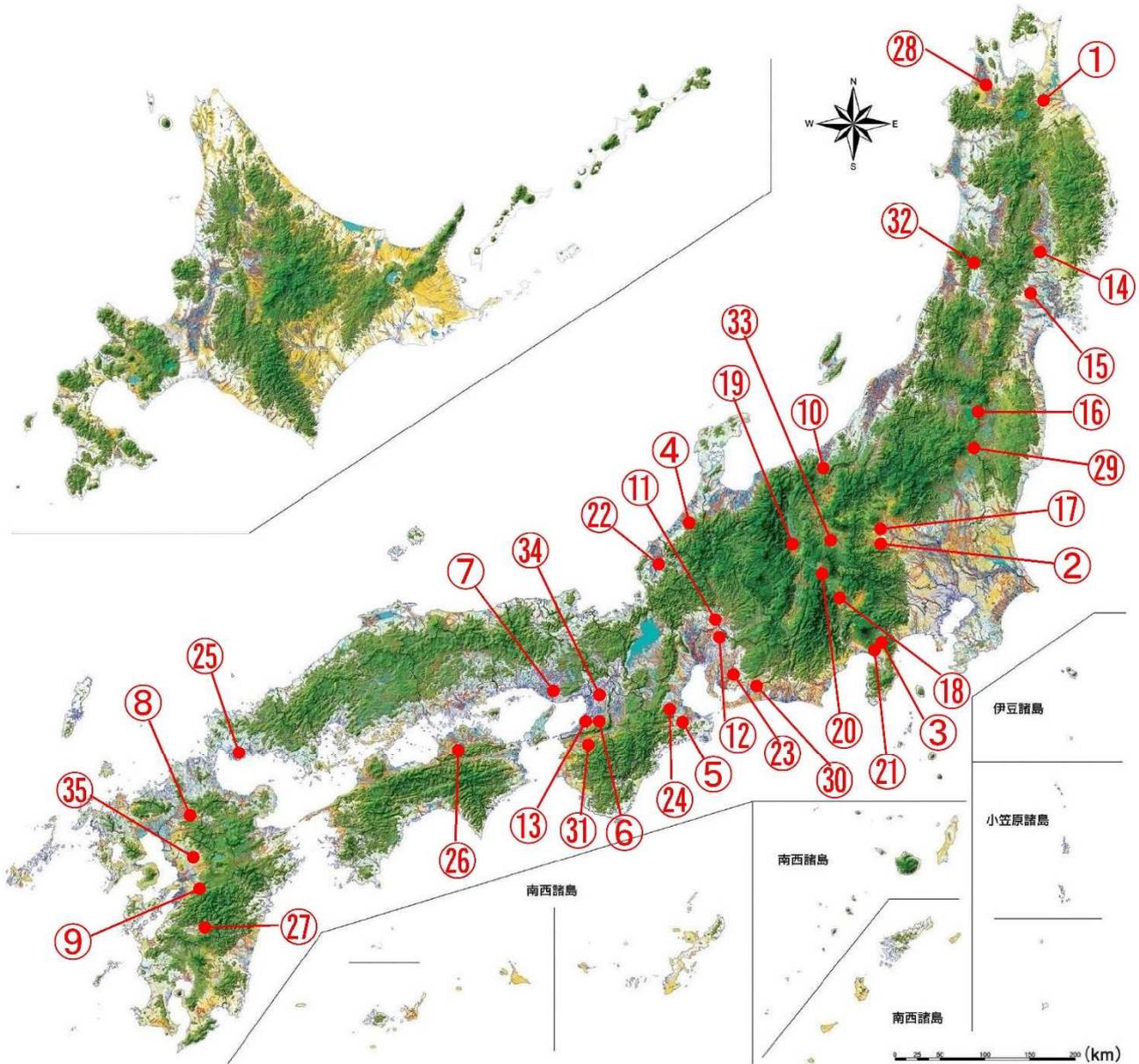
登録により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、かんがい施設を核とした地域づくりに活用されることが期待されています。

国名	登録数
日本	35
中国	17
スリランカ	5
韓国	4
タイ	2
エジプト	2
オーストラリア	2
メキシコ	2
インド	2
パキスタン	1
ロシア	1
イタリア	1
計	74

世界かんがい施設遺産 登録数（平成30年8月時点）



日本国内における世界かんがい施設遺産



平成26年登録		平成28年登録		平成29年登録	
1	稲生川	14	照井堰用水	28	土淵堰
2	雄川堰	15	内川	29	那須疏水
3	深良用水	16	安積疏水	30	松原用水・牟呂用水
4	七ヶ用水	17	長野堰用水	31	小田井用水路
5	立梅用水	18	村山六ヶ村堰疏水	平成30年登録	
6	狭山池	19	拾ヶ堰	32	北楯大堰
7	淡山疏水	20	滝之湯堰・大河原堰	33	五郎兵衛用水
8	山田堰、堀川用水、水車群	21	源兵衛川	34	大和川分水築留掛かり
9	通潤用水	22	足羽川用水	35	白川流域かんがい用水群
平成27年登録		23	明治用水		
10	上江用水路	24	南家城川口井水		
11	曾代用水	25	常盤湖		
12	入鹿池	26	満濃池		
13	久米田池	27	幸野溝・百太郎溝水路群		

「世界のかんがいの多様性」(2003年、日本農業土木総合研究所発行、農林水産省農村振興局監修)をもとに、世界かんがい施設遺産の位置を加筆。